

一般社団法人
東靴協会
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252) 5656
(9月号)

2022年春夏のファッションの傾向

アジアリング(株)

2022年春夏は「クラシックコンサバ(女性らしい王道エレガンス)復活」と「大胆カラーを楽しむ」が大きなキーワードとなる。70年代後半に流行した「ハマトラ」や「ニユートラ」など女性らしいスタイルリングが、40年の時を経て大きく復活していく。当時は横浜や神戸の女子大生の間で大流行したが、今回は様々な大人スタイルで今風アレンジを加えて取り入れていくのが特徴。エレガンスな雰囲気、コンサバ、パンプスなどが大きなトレンドとなっていく。しばらく、コンサバスタイルは通勤スタイルの定番とされてきたが、来春は休日やデートシーンで着用していくのが大きなポイント。靴業界にとって大きな追い風となる。

2022年春夏は「クラシックコンサバ(女性らしい王道エレガンス)復活」と「大胆カラーを楽しむ」が大きなキーワードとなる。70年代後半に流行した「ハマトラ」や「ニユートラ」など女性らしいスタイルリングが、40年の時を経て大きく復活していく。当時は横浜や神戸の女子大生の間で大流行したが、今回は様々な大人スタイルで今風アレンジを加えて取り入れていくのが特徴。エレガンスな雰囲気、コンサバ、パンプスなどが大きなトレンドとなっていく。しばらく、コンサバスタイルは通勤スタイルの定番とされてきたが、来春は休日やデートシーンで着用していくのが大きなポイント。靴業界にとって大きな追い風となる。

◆レディスシューズの傾向

2022年春夏はサンダル傾向に大きな変化が見られ



モードなベタサンダル

○サンダル

コロナ禍でもサンダルの売れ行きは好調であった。20

22年春夏も引き続き、トレンドアイテムとしてサンダルが大きく注目される。目新しいサンダルを揃えて、実売に繋げていきたい。

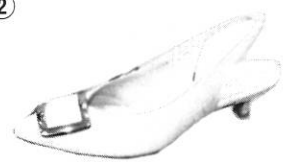


ヒールサンダル

【対策①】

目玉はヒールサンダル

コンサバエレガンススタイルの復活に伴い、エレガンス色の強いヒールサンダルがトレンドの目玉となる。先行ヒットの「シンブルミュール」を筆頭に、「クリアサンダル(透明ビニール素材のストラップ使用)」、「バックベルト付き」など様々なヒールサンダルを用意。ピンヒールも必要だが、安定感が魅力のチャunkyヒールやデザインヒールで実売に繋げる。



バックベルトのパンプス

【対策②】

モードなベタサンダル

ベタサンダルと言えば、シーズンの末期に売れるカジユアルサンダルの定番と言われてきた。しかし、近年はエレガンスやモードデイトールを取り入れた「究極のトレンドサンダル」に進化している。横ストラップやトング、クロスベルトなどのシンブルなデザインを、高品質の本革で表現するのが新時代のベタサンダル。大人女性のエレガンススタイルに合せるベタサンダルを提案するのが、靴業界の大きな使命となる。

【対策③カラーサンダル】

2021年はブーツに引き続き、白やアイボリーのサンダルがよく売れた。定番の黒だけでなく、流行カラーをサンダルで楽しみたい女性が増えている。2022年春夏は、引き続き白やアイボリーを継続し、赤やピンク、ブルー、グリーン、イエロー等のトレンドカラーを店頭でしっかりと揃えていく。特に、赤やピンクは大トレンドとなるので欠かせない色となる。



カラーサンダル

【対策④オープンパンプスの需要を倍増させる】

バックベルトやオープントゥ、セパレート(サイドオープン)等のオープンパンプスは現在の需要を倍増させていく。オンオフ兼用(仕事兼遊び)で汎用性の高いデザインである事、また主流のサンダルはヌーディ(素肌の露出が高い)である事から抵抗を感じる女性も多い。そこで来春夏は、オープンパンプスをサンダル感覚で楽しむ女性が増える。特に、バックベルトタイプは、カジユアル通勤でも様になる1足。ファッション感度の高い女性がオンオフ兼用で取り入れていく。

(二面に続く)

【対策②】楽しいトレンド カラーの提案

パンプスの提案は保守的な通勤ではなく、自由な休日シーンに切り替えていくので、パンプスでも積極的にトレンドカラーを提案していく。サングラ同様に、白は注目カラー。アイボリーやベージュなどと組み合わせで打ち出す。ここでも、赤やピンクはシーズンカラーとして大注目。ピンクもパステルだけでなく、原色に近いカラーも用意してインパクトを出していきたい。2021年も人気となったブルーやグリーンも継続させていく。また、派手な配色のコンビカラー、多色使いのマルチカラーを新しく提案。見ているだけでも楽しくなるカラーリングで店頭のアイキヤッチ(来店きつけ)に繋げていこう。



カラーパンプス

【対策③】フラットパンプスは モードアレンジ

一方、フラットパンプス(ヒールが低いパンプス)は全国的に支持率が高い。見た目の

可愛らしさに加え、1日着用しても疲れない点から、幅広い世代で愛用者が増えている。

来春夏の買い替え対応では、「スクエアラスト(やや角張ったデザイン)」「履き口のV字カット」「ゴールドの金具使い」などモードなデザインで新しさを表現。また、ローファーとパンプスの中間デザイン「ローファーパンプス」を新しく加えていく。



モードなフラットパンプス

○カジュアルシューズ

オックスフォードやローファーなどのトラッド短靴人気は継続するが、ここでも「素足感覚」や「透け感」がポイントとなる。春先は、ローファーやビットローファーのスリッパシューズ(踵部分がカットされたつまかけデザイン)を提案し、目新しさを出していく。ミセスやシニア世代では、ローファーやオックスフォードにスニーカーソールを組み合わせてスポーティアレンジで提案。白やシルバーの軽やかなカラーがよく売れる。

◆メンズシューズの傾向

メンズでもサンダルや素足感覚で楽しめるシューズを打ち出して、「持っていない1足」を提案する事が必要。レザーサンダルを筆頭に、大人の新しいアイテムをどんどん企画していこう。



ローファーのスリッパシューズ(クログ)



メンズのレザーサンダル

○カジュアルシューズ

まずは、レザーサンダルをしつかり打ち出していく。近年のレザーサンダルは足入れも良く、履き心地も大きく改善されている。アップの足馴染みがよく、底の返りもよ

いので男性でも積極的にレザーサンダルを楽しめる。また、レディス同様にメンズでもモードアレンジを加え、スクエアラストや厚底タイプ、アニマル柄などで新しさを表現。短靴では、大人気の「ローファー」に加え、「チロリアンシューズ」や「ワラビー」「キャンモック」など、モカステッチを効かせたカジュアルシューズを提案。クラークスのワラビーも久しぶりにトレンドで復活する。しかし、全国的に一番人気となるのはローファー。ヤングトレンドから、大人の休日カジュアル、ビジネス対応まで汎用性の高さが最大の魅力と言える。デザインバリエーションを広げて提案していこう。

○ビジネスシューズ

アフターコロナに向けては、様々な働き方に対応した、ビジネス靴の提案が不可欠。テレワークも広がったが、しばらくは様々な通勤スタイルを取り入れていくので、多くのシーンに対応できる「汎用性の高さ」「オンオフ兼用感」が求められていく。

そこで、クラシックなアップと、スニーカーのような履き心地を追求した「ハイブリッドドレス」は更なる進化が必要。ソールのハイテク感に加え、防水、撥水、抗菌など付加価値を高めていこう。

◆スニーカー&キッズ傾向

男女共に、ヤングトレンドではクラシック回帰が加速していく。クラシックコートやクラシックスランニング、バルカナイズ等の王道シューズを旬のトレンドカラーで提案し、ファッション感を高めていく事が要だ。

○大人スニーカー

男女共に、クラシック回帰が加速していく。中でもクラシックコートは目玉商品となる。ただし、今回のクラシックコートは「スタンスマス」等デニッシュよりも、「エアフ



ハイブリッドビジネス

婦人靴で広がる サステイナビリティ

7月28日の織研新聞に
次のような記事が掲載された。
一部を抜粋して紹介する。

婦人靴の専門店やメーカー・卸が、サステイナブル(持続可能)な商品を増やしている。皮革はそもそも食肉の副産物だが、多くのパーツを必要とする靴は全ての材料を環境配慮型に切り替えるのが難しい。それでも、人や環境に優しい物作りの価値を伝えようと、一歩ずつ前進している。

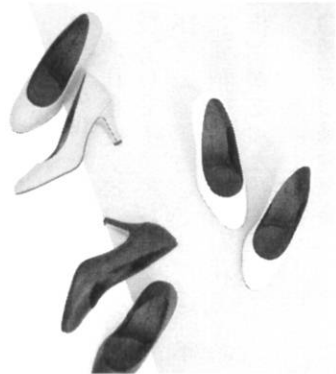
パンプスを形に

今秋冬はパンプスが目立つ。19年秋からLWG(レザーに対する品質や安全性、環境問題等の啓蒙活動を行っている国際団体)認証革を採用しているワシントン靴店は、パンプスにこだわりの「どこまでサステイナブルにできるか、取引先にも相談して素材をリサーチした。生産コストを上げればモノはできるが、直営店の平均的価格の15,000円を踏まえた中で今できることから始めた」という。

その結果、廃棄予定のリンゴを原料にした「アップルレザー」をアップルにした7cm

ヒールのパンプスを商品化した。裏材と中敷きは足当たりの良さを配慮し、日本エコレザー基準を認定した馬革。底材には「エコテックススタンダード100」を取得したマイクロファイバーを、中底・先芯・カウンターには生分解性素材を使った。クッションにはコルクを、本底は本革を使う。金属製のシャンクとプラスチック製のヒールは、一定の強度を維持する代替えのものが見つからず、全てを環境配慮素材に置き換えるには至らないが、「今からやつていかなければならない」。

発売は銀座ワシントンの銀座本店で9月を予定し、価格は25,000円。国内生産で履き心地に定評のある木型を使った。まずは、社会で活躍する女性に履いてもらい、サステイナビリティに向き合うパンプスの認知を広げていく考えだ。



かねまつは今秋冬「銀座かねまつ」向けで環境配慮型の3モデルを商品化した。社内では、人と環境に優しい商品開発とカスタマーサービスに取り組みかねまつラボを発足。「エレガンスを備えていること、長く使える品質を大事にした商品提案のなかで、環境配慮の生活につながる手伝いをしていきたい」と兼松専務は話す。

商品の一つは、なめしの工程で水の使用量をゼロに近づけた「ドライタン」のシープスキンを使った5.5cmヒールのパンプスだ。国内生産で価格は21,000円。裏材は牛革を採用し、中底や先芯、カウンターは生分解性素材。本底には革を再利用したレザーボードを使った。これらは輸入素材を国内加工したもので、「できれば輸入に頼らずに形にしたい。国内では革を再利用する循環が出来ておらず、物作りのサプライチェーンも含めて少しずつ意識を変えていかなければ」という。

この記事に関し、協会より問い合わせをしたところ銀座ワシントン様より次のように取り組みのコメントが届きました。原文のまま掲載します。

弊社のサステイナブルへの取組について

銀座ワシントンでは、地球環境にやさしい新たな取組み

として、2020SSより一部商品において、LWG認証レザーを使用し始めました。現在では、LWG認証レザーを使用した商品の取扱いも徐々に増えております。社内において、世界的な企業のサステイナブルへの取組みが進んでいく中、当社としても、さらにもう一歩踏み込んだ取組みに挑戦してみようということになりました。どこまでサステイナブルな商品を開発できるか」というテーマを掲げ、企画担当者が、メーカーの協力を得ながら、商品化させたのが、2021AWより展開する「アップルレザー(廃棄予定のリンゴを使用した、環境にやさしいヴィーガン素材)」を使用したパンプスです。結果的に、「ヒール」「シャンク」以外の部材については、「製造過程、使用中、また廃棄後も環境への悪影響のない原材料の使用」という条件をクリアした部材を調達することができました。当社としても、取組み始めたばかりのことであり、地球環境に配慮したものに替える必要のある部材(「ヒール」「シャンク」)の調達等、まだまだ課題はありますが、今後エシカルな企業行動をし、微力ながら、サステイナブルな社会の実現のお手伝いをできればと思っております。

2021年8月26日

(株)ワシントン靴店 営業部

(二面より)
オースイ」等のバスケットタイプが中心となる。適度なボリウム感を重視するので取り扱いに注意が必要。また、「白単色」は引き続き大人気だが、マルチカラーや派手なコンビカラー、パステルカラーなど、目新しい色をしつかり揃える事がポイントだ。



ジュニアの厚底スポーツサンダル

○キッズ(子供靴)

ジュニア&キッズでは、これまで大人スニーカーで大人気だったアイテムを提案させていく。女兒向けでは、スケッチャーズやアキクラシックで見られるダッドスニーカーのジュニア版が注目。同じ厚底ソールを使用したスポーツサンダルも大ヒットする。

一方、男児向けでは、ハイテク感を重視するので、大人トレンドで大ヒットしたニットスニーカー、ハイテクソールタイプを打ち出していく。真夏はアウトドアサンダルタイプを家族お揃い需要で提案していく。

各委員会報告

コロナ禍でも少人数での各委員会はコロナ対策を実施した上で左記のように開催されております。

○総務委員会

7月27日(火) 9月3日(金)
東靴協定会議室
6名が参加

1、防災用品について

共助会会費の有効利用を目的に、5年前に防災セットを会員各社に配布。5年経過時に入れ替えの必要リストと費用の見積もり資料を基に検討。当初、二人用セットであるはずのアルミブランケットとマスクが一個しかなく、今回更に一個追加することとした。他は入れ替え分に背負式広口給水袋を追加し、現状の会員数に合わせセット発注することとした。現時点では9月下旬から10月初旬配布予定だが、遅れる可能性あり。

2、レクリエーション(夏期学校)

日帰りバス旅行について
9月中旬～10月下旬に計画していたが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、今年度は中止。「犬吠埼と香取神宮」方面との提案があり、来年度検討する。

3、その他

親和会総会について、委員長より来年2月17日(木)～18日(金)とし、会場は昨年同様箱根湯本「河鹿荘」との提案があった。

○教育研修委員会

8月5日(木)東靴協定会議室
5名が参加

1、中堅社員研修会

椎野講師の「ディスプレイの基本」のテーマで8月中旬～下旬に開催予定だったが、コロナ禍により中止を決定し、来年1月以降に変更する。テーマを「靴」そのものについての勉強会(若手靴職人の話を聞く・専門家からの靴の評価についての講演・多くの人と靴について話し合う機会を作る等)の開催。ネット販売の現状等の講演会・サステナビリティ(SDGs)の素材についての講演会。オンライン研修等の提案があり、引き続き検討する。

2、工場見学

来年2月に婦人靴メーカーの見学を予定。具体的には未定、次回以降の検討課題とする。

○仮称「若手の会」

8月4日(水)東靴協定会議室
青木会長を含め5名が参加

1、若手の会名称について

東靴50周年に組織された「東青会」から始まり「ガンバの会」に引き継がれてきた若手の会ですが、理事会や常務会とも違う提案発想で東靴協会を推進してきた委員会です。

70周年を機に再び新メンバーで進めていくことになりました。よって、グループ名も新しく決めたいと思いますのでご提案下さい。次回以降の委員会で決定します。と事務局より説明。

2、東靴協会ホームページ刷新について

これからの東靴協会のHPの在り方を考え、初めに現状のHPについて田中事務局員より説明を行った。

又、新HPへの刷新に向けての具体的内容を検討する前に、今後の東靴協会のあり方、HPの世の中の方向性、SNSとの関わり等について外部からのアドバイザーとしてアジアリングに依頼しては、との提案があった。早速、事務局より連絡を取ることとする。

3、オンライン会議について

今回、1名は自宅からZoomで委員会に参加した。手元にPC又はスマホがあれば参加が可能な為、「若手の会」委員会では導入し運用することとした。

将来的には、足型計測勉強会での利用も検討中で、8月18日の勉強会でテストを行った。受講者が用意する機材、参加人数、時間的制約、ネット環境、受講者の計測の指導等課題も多く、引き続きシューフィッター委員会で検討する。

予告

親和会総会・

新年懇親会予定

日時：令和4年
2月17日(木)～18日(金)

会場：箱根湯本温泉「河鹿荘」
お申込み等、詳細は改めてお知らせいたします。

尚、新型コロナウイルス感染症拡大の推移により中止となる場合もあります。

靴専門店・大手三社の

直近3か月売上推移

コロナ第5波の影響で売上げの回復は遅れ、特に上旬は前年の「特別定額給付金」の反動や新学期需要のズレなどで大きく落ち込んだ。(チヨダ)

新型コロナウイルス感染症拡大により、旅行や帰省等の移動自粛の動きが全国に広がり、夏休み需要が低下した。気温の高い日が続く、サンダルが好調に推移した。(ABCマート)

新型コロナウイルス感染症第5波による客数減少の影響を受け、売り上げは減少した。(ジフット)

東京都中小企業景況調査(7月)

業況：弱含みで推移
見通し：慎重な姿勢

卸売業			業況			
対象数	回答数	回答率	7月		今後3か月間見通し(当月比)	
875	365	41.7%	悪い	良い	悪い	良い
			-100	0	-100	0
衣料・身の回り品	1. 男子服					
	2. 婦人・子供服					
	3. 靴・履物					
	4. かばん・袋物					
	5. 装身具・身の回り品					

小売業			業況			
対象数	回答数	回答率	7月		今後3か月間見通し(当月比)	
875	301	34.4%	悪い	良い	悪い	良い
			-100	0	-100	0
衣料・身の回り品	1. 呉服・服地・寝具					
	2. 男子服					
	3. 婦人服					
	4. 子供服					
	5. 靴・履物					
	6. かばん・袋物					
	7. 雑貨・身の回り品					
	8. 時計・眼鏡					
	9. ジュエリー製品					

社名	6月	7月	8月
チヨダ	既存売上	-24.1	-13.0
	客数	20.7	-8.5
	客単価	-5.6	-4.9
ABCマート	既存売上	-15.6	9.2
	客数	-18.0	6.7
	客単価	3.0	2.3
Gフット	既存売上	-25.9	3.8
	客数	-28.8	-2.9
	客単価	4.1	6.9